

国内外で活躍する建築家 福島県の期待の星に注目

安齋好太郎さんに会いたい!

「安齋好太郎講演会『ローカルとグローバル』」

2/21



建築家 Life style 工房 代表取締役社長

安齋好太郎氏

(プロフィール)

1977年福島県二本松市生まれ。1997年中央工学校卒業後、(株)巧建社に勤務し、2000年に帰郷。家業の安齋建設工業を後継する。2006年、(株)Life style 工房 安齋建設工業を設立。現在、一般住宅はもとより、店舗や商業施設の建築・施工などを行っている。代表作品は、数々の建築賞で評価を得た「CAVE」や、「JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2015」を受賞した「五浦の家」ほか多数。「施主との会話から、使い手のライフスタイルやストーリーを引き出し、“本当に望むもの”をカタチにする」ことをモットーとしている。

建築家という職業は、国際的には建築物の企画・デザイン・構造などの広い領域にまたがって用いられている。一方で日本の建築・住宅業界では職種ごとに細かく分類されている。例えば、設計事務所に所属する建築士、建設会社に所属する設計担当者やデザイナーなど、いずれも建築家という肩書きを持つ可能性のある職業であるが、異なる業界に属していることから相互交流できる機会が少ないことが課題となっている。

こうした業界の垣根を超える取組みの一つとして、公益社団法人日本建築士協会（JIA）福島地域会事務局は、2月21日（水）、福島県郡山市において、「安齋好太郎講演会『ローカルとグローバル』」を開催した。本講座は2018年市民講座として開催された（入場無料、CPD 2単位プログラム）。

安齋好太郎氏は、三代続く工務店の後継者として年間10棟ほどの住宅の設計・施工を行いながら、建築家として国内外のプロジェクトも手掛けている。Life style 工房の社長として福島県二本松市と東京の二カ所にオフィスを構えている。業界としては建設業に分類されるので、地元の建築士協会を通じて交流する機会がなかったものの、日本大学の建築学科のキャンパスのある郡山市では、国内外でアクティブな活動をしている若手建築家として注目を集めている。そこで公益社団法人日本建築士協会（JIA）福島地域会事務局は、市民講座という機会を通じて、建築家の安齋好太郎氏を市民に広く知ってもらうという趣旨でイベントを開催。会場には、設計事務所、建設会社、住宅メーカーの関係者など約50名が来場した。